

・かぬまの環境を
地域と共にはぐくむ・

「ecoの環」へのご意見、ご要望がありましたら、環境政策係までお寄せください。

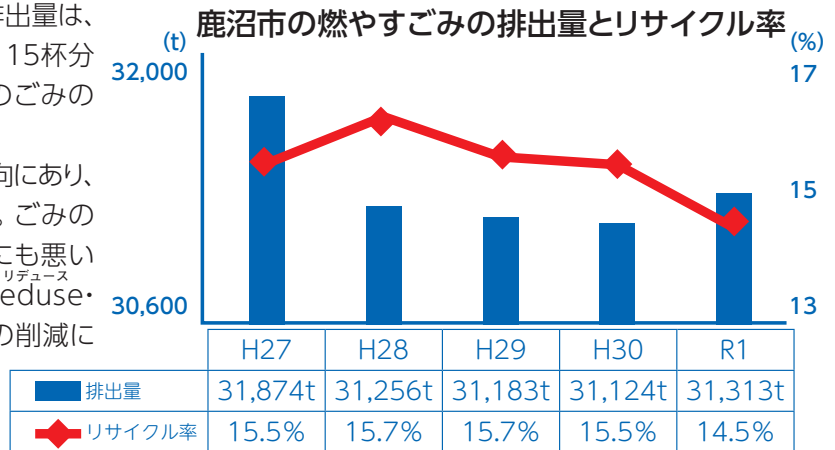
環境課環境政策係 ☎(64)3194

ごみの排出量はどのくらい?

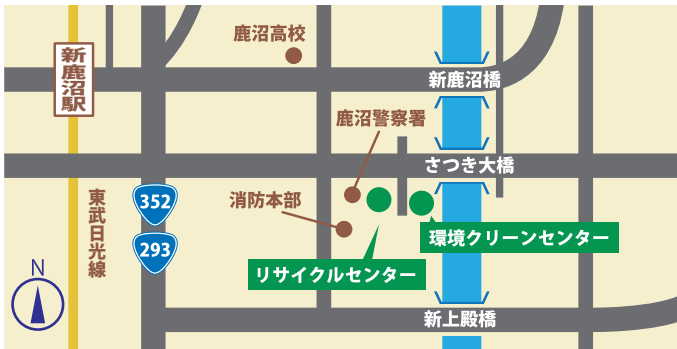
日本全体の平成30年度のごみ総排出量は、4,272万tあり、これは東京ドーム約115杯分にあたります。また、1人1日あたりのごみの排出量にすると、918gに上ります。

鹿沼市の燃やすごみの量は微増傾向にあり、リサイクル率は減少傾向にあります。ごみの処分には多くの費用が掛かり、地球にも悪い影響を及ぼしています。分別や3R(Reduce・Reuse・Recycle)を徹底して、ごみの削減に努めましょう。

鹿沼市の燃やすごみの排出量とリサイクル率 (%)



始めよう！リユース生活



皆さんは、「リサイクルショップぶうめらん」を知っていますか?ぶうめらんでは、さまざまなリユース商品を取り扱っています。

洋服や雑貨、家具、電化製品、自転車、学校の制服が安価で手に入ります。500円以下で掘り出し物に出会えるかも…。

まだまだ使えるのに捨ててしまうのは、もったいないです。上手に活用(リユース)してごみの削減に努めましょう。



いろいろな学校の制服があるよ



おもちゃや家電もたくさん



食品ロスについて考えよう！

茶わん一杯分のご飯

廃棄物対策課廃棄物対策係 ☎(64)3241

皆さんは、「食品ロス」という言葉を知っていますか？

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

日本では、日々多くの食品が捨てられており、毎日1人あたり、重さにして茶わん一杯分のご飯が廃棄されています。これは、食品だけでなく、お金も無駄にしていることとなります。

新型コロナウイルス感染症の影響から、家庭での食事の機会が増えるなど「新しい生活様式」が定着しつつあります。「食べきれぬ分だけ食材や食料品を購入する」「作りすぎない」「残さず食べる」などを実践することで食品だけでなくお金のロスも抑えることができます。

食品ロスを減らす取り組みを今日から始めてみましょう。



食品ロス川柳

食品ロス
浮いたお金で
ロス(ロサンゼルス)旅行♪

みんなでチャレンジ!

食品ロス減らす **「3きり運動」**

料理はおいしく。**「食べきり!」**

食材はムダなく。**「使いきり!」**

生ゴミはギュっと。**「水きり!」**



環境活動者 紹介コーナー

市内で環境の保全や美化などに取り組む団体・企業などを紹介します。

「豊かな農村を守り育む」七区環境保全の会(板荷)

「七区環境保全の会」は、板荷七区地域の水路や農道、農地を適正に管理することを目的として、平成30年10月に設立されました。現在、地域住民約230人が所属しています。

主な活動として、水路や農道、農地の草刈りや水路の土砂さらいなどを行っているほか、地区内の景観整備や野生鳥獣対策にも力を入れています。

七区環境保全の会では、農業・農村がもつ「多面的機能」の適切な維持・発揮を後押しする、農林水産省の交付金を活用して活動を行っています。

農業・農村は、農作物の生産だけでなく、洪水の予防や美しい景観・生態系の保全、河川の流れの安定化など、さまざまな機能(多面的機能)をもっています。

こうした機能は、農業・農村を適切に継続することで維持・発揮されるものであり、本会の活動も、周辺地域の農業・農村の「多面的機能」を守る役割を担っています。

今後も、七区環境保全の会では、多くの恵みをもたらす地域資源である農村を、大切に守り育む活動を推進していきます。

